

ごみ収集車にAEDを搭載 ～収集作業とともに市民の大切な命を守ります～

市は、令和5年4月から、市内一円で燃やせるごみを収集しているごみ収集車にAEDを搭載しました。これにより、ごみ収集作業中や走行中に傷病者に遭遇した際、収集員がAEDを使用して心肺蘇生を行うことができるなど、市民の大切な命を守る救命活動が可能になりました。

AEDは公共施設や商業施設を中心に普及しているものの、設置場所が限られていることから、令和元年9月30日から開始した戸別収集で市内をくまなく走行し、各戸に収集員が訪問している特性を活かした本事業は、先進的な取り組みとなります。

1 実施時期

令和5年4月から

2 AED搭載車両台数

収集車両（市直営）全12台のうち、6台

3 普通救命講習修了人数

収集員（市職員）全44名のうち、再任用職員及び会計年度任用職員の一部を除く、34名

4 今後の展望

救命技術の向上を目指すため、定期的な訓練を行うとともに、収集業務で使用している車両運行管理システムを活用し、車両の位置情報により緊急時の応援体制を直ちに構築するなど、市民が安全で安心して暮らせる環境づくりを目指します。



◎この件に関するお問い合わせ

海老名市経済環境部資源対策課収集業務係 電話046-235-4922